

2013LDA世界ドラゴン選手権日本大会で発見! 日本一振り遅れやすい男の 1Wに共通点アリ!?

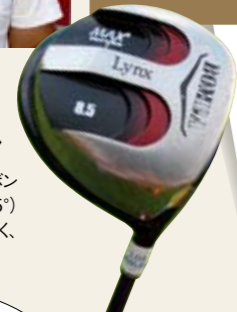
ドラゴンとは一か八かのマン振り。しかもヘッドスピードは速く、クラブは限界までの長尺。その振り遅れやすさは常人の比ではない。これをどうやって解消するのかを探りに、ドラゴン日本一決定戦を取材。そこで判明したのは、1W選びにある共通点があることだった…。

ボクはフェーダーなので、つかまるヘッドでないと戦えません。このヘッドは本当につかまりがよく、振り遅れないから結果が出せるんですよ。



LDAドラゴン日本大会 準優勝
高田 祐太郎
86年生まれ、兵庫県出身。190cmの長身から豪快なショットを繰り出すイケメン選手。331ヤードで準優勝(予選では357ヤードを記録)

リンクス
**ボンバ
マックスバージョン**
高田選手も山田選手と同じく、ボンバマックスバージョン(ロフト8.5°)を使用。長尺ながら振り遅れにくく、つかまえやすいと絶賛



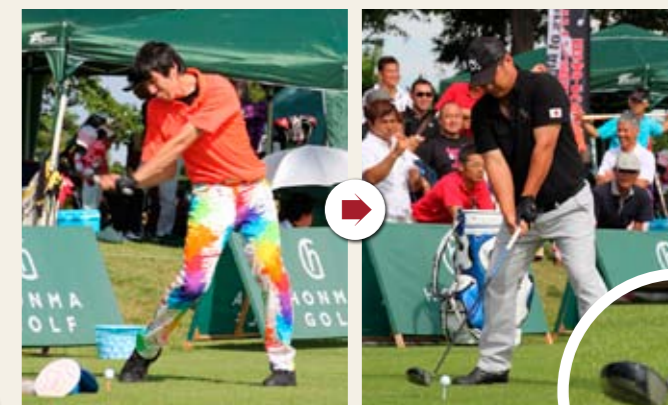
ドラゴン日本一決定戦は リンクス勢が上位独占!!

惜しくも
準優勝でした…

ボクが日本一
飛ぶ男です!



シニアで一番
飛ぶのはボク!



超高速ヘッドスピードのドラゴン選手が超長尺クラブで一か八かのマン振りをするため、振り遅れやすいのは当たり前。一般的な対策として、選手はフェースを約5~10度程度かぶせて構えることが多い(写真右)。ロフトを殺し、スピンを減らして吹き上がりを防ぐのと同時に、つかまりやすくしているのだ

ヘッドスピード日本最速との呼び声高いドラゴン選手、和田正義プロ。彼が振り遅れないために監修したが、ボンバマックスバージョンだ



このヘッドは重心距離がほどよくて、すぐ操作性がいいから振り遅れが出ない。打感と顔もいいから、思い切り叩けるし、本番でも乗っていきなりました。選手の力を100%引き出してくれる、強弾道もウリですね。

LDAドラゴン日本大会 優勝
永原 総太郎
82年生まれ、富山県出身。高校時代は4番・エースで甲子園に出場経験もあり。LDA世界ドラゴン日本大会の連覇をほたし、いまやドラゴン界のエース。今回の優勝でラスベガスで開かれる世界大会への出場権を獲得



**コレが
日本一飛ばす
男のクラブ**

リンクス
マスターモデル MB
このクラブを手に、永原が346ヤードをマークして優勝。(予選では最長不倒の370ヤードを記録)ヘッドは和田正義が監修。低スピンの強弾道がウリ



日本一飛ばす男・永原総太郎のスイング。振り遅れ対策で左ツマ先を閉じて踏み込み、体の開きを抑えてシャープに振り抜いている



LDAドラゴン シニア部門 優勝
山田 勉
68年生まれ、岐阜県出身。元ヤクルト・スワローズの豪速球投手。今回は347ヤードで見事シニア部門で優勝をはたした

リンクス
**ボンバ
マックスバージョン**
460cmの大型だが、重心距離を32mmと極めて短く設計し、操作性とつかまりを向上させている。また、重心深度を浅くすることで、低スピンの吹き上がりもなく、ランも稼げる

